



# 6月12日（月）全校朝会

## 「俳句の輪」

2023.6.12

全校朝会では「さまざまな輪」の話をしてきました。今までの話は、校長室前の掲示板やホームページに載せています。時間があるとき、ちょっと読んでみてください。毎日の生活の中で、友達、先生、主事さん、地域の方に素敵な輪を広げていきましょう。

今日は、俳句の話をしてします。

俳句という言葉を知ったことがある人いますか？

俳句を作ったことがある人いますか？

俳句とは、300年前の人が作った短い言葉で表現する方法です。有名な人だと松尾芭蕉などがあげられます。そこから長い間、日本では、この俳句という日本の文化を大事にしてきました。三輪小でも俳句作りに挑戦していきましょう。

では、俳句の例を紹介しましょう。

「紫陽花の あざやかに咲く 雨にぬれ」

俳句を作るポイントを2つお話しします。

1つ目のポイントは、文字数です。

一行目が5文字、二行目が7文字 三行目が5文字 合計 17文字です。

紫陽花の 5文字 あざやかに咲く 7文字 雨にぬれ 5文字

2つ目のポイントは、季節を表す言葉 「季語」を入れるということです。この俳句での季語は、「紫陽花」でちょうど今、6月ごろを表しています。

この2つのポイントに気をつけて、ぜひ俳句作りに挑戦してください。校長室前に「投句箱」がおいてあります。その横に俳句を書く「紙」もあります。俳句が思いついたら、この紙に俳句を書いてこの箱に入れてください。

7月には、素敵な俳句を書いた人を表彰する予定です。

三輪小学校に「俳句の輪」を大きく広げていきましょう。